

国際シンポジウム

# 戦争と文学の交渉 —古代から近現代へ—

日時 2022年3月26日(土) 10:30~18:05

聴講  
無料

申込  
不要

オンライン(Zoom)開催

プログラム

10:30 ~ 10:40	開会挨拶	村田 右富実 (主幹研究員・関西大学教授)
10:40 ~ 11:20	基調講演	村田 右富実 「高市皇子挽歌に見る壬申の乱」
11:20 ~ 12:00		関 肇 (研究員・関西大学教授) 「十五年戦争下の言論統制と新聞小説」
12:50 ~ 13:20	発表①	増田 周子 (研究員・関西大学教授) 「火野葦平「バタアン死の行進」論—バタアン戦争と捕虜—」
13:20 ~ 13:50		高橋 美帆 (研究員・関西大学教授) 「二つの大戦から生まれた詩—オーウェンとシットウェル再読—」
13:50 ~ 14:20		鄒 双双 (中山大学准教授) 「石川達三「生きている兵隊」の翻訳・再生と中国の抗戦」
14:30 ~ 15:00	発表②	小田 芳寿 (非常勤研究員・関西大学非常勤講師) 「天平期の節度使と戦争」
15:00 ~ 15:30		木下 響子 (準研究員・関西大学非常勤講師) 「吉屋信子『女の教室』論—『未亡人』との接続をめぐる—」
15:30 ~ 16:00		唐 楚輝 (関西大学大学院博士課程後期課程) 「山崎豊子『大地の子』論—鄧平化の人物像及び作中での役割を中心に—」
16:10 ~ 16:40	発表③	辻 秀平 (関西大学大学院博士課程後期課程) 「川端康成「生きてゐる方に」をめぐる言説空間—GHQ/SCAP 占領期のグラフ雑誌『旬刊ニュース』の検討から—」
16:40 ~ 17:10		松山 哲士 (関西大学大学院博士課程後期課程) 「筒井康隆「ベトナム観光公社」論—戦争の当事者と傍観者の表裏—」
17:10 ~ 17:40		江 迅 (関西大学大学院研究生) 「長谷川四郎「ガラ・ブルセンツォワ」論—亡命ロシア人の「内戦」とその終結—」
17:40 ~ 17:55	シンポジウム 総括	関 肇
17:55 ~ 18:05	閉会挨拶	村田 右富実

共催 JSPS科学研究費助成事業・基盤研究(C)「日中、アジア・太平洋戦争とその連続性から見た火野葦平文学研究」(19K00309、代表:増田周子)

当日の資料については3月25日(金)までに東西学術研究所ホームページにてアップいたしますので、ご確認下さい。  
<https://www.kansai-u.ac.jp/Tozaiken>



参加方法

Zoomにて下記IDとパスワードを入力し、ミーティングにご参加ください。

ミーティング ID **201 318 6255** パスコード **088304**

○変更が生じた場合、東西学術研究所のホームページ、SNS等にてアナウンスいたしますので、ホームページ等をご確認くださいようお願い申し上げます。

お問い合わせ先

関西大学 研究所事務グループ

〒564-8680 吹田市山手町3丁目3番35号 E-mail:touzaiken@ml.kandai.jp  
TEL(06)6368-0653/FAX(06)6339-7721

最新情報発信中!

ぜひフォローを  
お願いします。



@touzaiken.keiseiken.hogakuken  
[東西研・経政研・法研] 関西大学3研究所合同



@KU\_kenkyusho 関西大学文系3研究所

